

号外！次は8月！この二人です！

第20回 佐世保かっちえて落語会

春風亭一朝・一之輔親子会

落語の世界における“親子”とは“師匠と弟子”のことですが・・・もしもあなたが落語好きの方ならば、この二人の真打による親子会が、どれほど必見必聴の価値ある会か、おわかりになると思います。もしもあなたが落語初心者だとしても、次回この二人の高座を見聞すれば、“落語のほんとの面白さ、その深さと素晴らしさ”がわかりますよ。もっとも私たちの会は、毎回それを目指していますが。この二人の会は、東の都あたりでもめったにはなく、あったとしてもチケットが手に入らないほどの人気番組。そんな一朝・一之輔の親子会を、西の端の佐世保で堪能できるんです。しかも、二席ずつ、たっぷりと、口演していただきます。

春風亭一朝

1950年生まれの68歳。

江戸前の噺家として人気のあった五代目柳朝の総領（一番）弟子。師匠譲りの、高座で啖呵を切る威勢のよさは天下一品であり、江戸っ子を演じたら、これほど似合う噺家はいないだろうと賞賛されている。粋でいなせな江戸落語の典型的な噺家であり、NHKの大河ドラマや時代劇では役者たちへの江戸言葉の指導を依頼されるほどである。ここで「かっちえて落語会」ならではの、こぼれ話をひとつ。ある日、何度か来ていただいている噺家さんと一献傾けながら・・・「今度佐世保は一朝師匠に来ていただけるんですよ」と話したところ、その噺家さんが「あの師匠は別格ですよ」と言っていました。その噺家さんも、十分に別格の方なのですが。

春風亭一之輔

1978年生まれの41歳。

23歳の時に入門。34歳の時に異例の21人抜きで真打に昇進。その時の落語協会会長であった人間国宝の柳家小三治師に「久々の本物だ」と賞賛され、その快挙は大いに話題となるが・・・「（一朝）師匠の人徳のおかげです。あの師匠の弟子なら、ということで選んでもらえました」・・・とあくまで謙虚で決して浮き足

立つことなく、精進を重ねながら芸に磨きをかけ、その勢いがある
小気味よい落語は、いま最も面白い若手真打である。
師匠譲りの江戸前の伝統芸を若き感覚で演出するその独創的な高座は、
古典でありながらも現代的な面白さに満ちている。

一之輔さん曰く・・・「うちの師匠の落語は、すごく流れがきれいで、
耳に心地よい落語で、ああ、こういう人みたいな落語がやりたいなと
思っ」・・・弟子入りしたそうです。
一朝師は、一之輔さんの“真打昇進披露興行 50 日”の間、一日も休む
ことなく、弟子の興行に付き合ったそうです。まさに“この師匠にして、
この弟子あり。この弟子にして、この師匠あり”。こんな二人が、
有難いことに、佐世保で“親子会”をやってくれるんです。
どれだけ貴重で希少で、どれほど面白い会になるか、“わかる人”には
わかりますよね。

もちりん、前座はわが故郷の落語っ子たちが務めさせていただきます。
嗚呼、なんて贅沢な会なんでしょう。
嗚呼、なんて予約したくなる会なんでしょう。
嗚呼、なんて楽しみな会なんでしょう（自画自賛かよ！）。はい私は、
還暦すぎの自画じいさんです。この会場で、本日より予約を承ります！

（文責・海老原靖芳）

2019年8月25日（日）

開演午後4時

佐世保コミュニティーセンター5F

大人指定席：2,500 円 自由席：2,000 円

小中高生：1,000 円（指定席・自由席ともに同じ）

〈チケット販売は約2ヶ月前です〉

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちゃんて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時

〈指定席希望者のみご記入ください〉

◆ 指定席 大人()枚・子供()枚

〒

ご住所 _____

ご氏名 _____

電話・FAX 番号 _____